

## （1）がん予防（たばこ対策分野）

【めざす姿】 県民が、がん予防に関する正しい知識にもとづいたがん予防に取り組み、がんの罹患が減少している。

個別施策  
(目標のために取り組むこと)

中間目標  
(最終目標のために必要な体制整備)

最終目標  
(あるべき姿)

初期アウトカム

個別施策

指標

中間目標

指標

最終目標

指標

たばこ対策  
の充実

- ①市町村が主体となった普及啓発
- ②禁煙支援体制の整備・充実
- ③禁煙支援の推進
- ④20歳未満の者未成年者の喫煙防止対策の強化
- ⑤※要検討  
受動喫煙防止対策にかか  
る現状の把握と  
県民への分かりやす  
い表示の推進  
(健康増進法改正前  
に策定された内容)

- ・普及啓発の実施市町村数
- ・禁煙支援リーフレットの活用機関数  
(市町村・医療機関等)
- ・禁煙支援協力薬局数
- ・禁煙支援協力薬局の相談実績数
- スパイロシフトの活用市町村数
- ・妊婦喫煙率
- ・喫煙防止教育の参加人数
- ・※要検討  
敷地内・建物内禁煙の実施市町村数  
(健康増進法改正により行政機関の庁舎は第一種施設と位置付けられた)
- 受動喫煙防止対策にかか  
る説明会の参加人数
- ・※要検討(受動喫煙防止  
対策の指標)

①禁煙希望者が禁煙できている

②県民が望まない受動喫煙にあわない

①喫煙率

- ②受動喫煙にあう人の割合
  - ・行政機関
  - ・医療機関
  - ・職場
  - ・家庭
  - ・飲食店

①がん罹患率減少

②がんに関する正しい知識を持っている

①がん罹患率

- ②過去1年間にがん検診を受診した人の割合
- ③※要検討(がん予防に関する正しい知識の指標)  
生活習慣病・感染症予防と整合性を図る

# 第4期奈良県がん対策推進計画 分野別施策(案) 1. がんの予防・がんの早期発見

## (1) がん予防 【めざす姿】 県民が、がん予防に関する正しい知識にもとづいたがん予防に取り組み、がんの罹患が減少している。

個別施策 (目標のために取り組むこと)			中間目標 (最終目標のために必要な体制整備)	最終目標 (あるべき姿)		
初期アウトカム	個別施策	指標	中間目標	指標	最終目標	指標
健康的な生活習慣の普及	①減塩対策の充実 ②適正飲酒に関する普及啓発の推進 ③身体活動を増加させるための普及啓発の推進 ④適正体重について正しい理解の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>減塩に関する健康教育を実施する市町村数</li> <li>企業と連携し、減塩対策に取り組む市町村数</li> <li>乳幼児検診等の機会に減塩、野菜摂取をテーマに健康教育を実施する市町村数</li> <li>→飲酒量チェックリスト掲示市町村・医療機関・薬局数</li> <li>→適正飲酒に関する研修会参加保険者数</li> <li>→保健指導実施保険者数</li> <li>身体活動を増加させるための普及啓発に取り組んでいる保険者数市町村数</li> <li>適正体重について正しい理解を推進するための普及啓発に取り組んでいる保険者数市町村数</li> <li>・健康推進課において指標案について検討中</li> </ul>	①成人の塩分摂取量が減少している ②県生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている人が減少している ③運動習慣を有する人が増加している ④適正体重を維持している人が増加している	①成人の塩分摂取量 ・男性 ・女性 ②生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている人の割合 ・男性 ・女性 ③運動習慣を有する人の割合 ・男性 ・女性 ④BMIが、 男性：21～27の割合 女性：21～25の割合	①がん罹患率減少	①がん罹患率
感染症予防の充実	①肝炎対策の強化 ②HTLV-1母子感染予防体制の整備 ③HPVの予防に関する国の施策の情報収集→提供周知・啓発 ④ヘリコバクター・ピロリの感染についての周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>B型肝炎予防接種率</li> <li>肝炎ウイルス検査受診者数(市町村)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・B型</li> <li>・C型</li> </ul> </li> <li>肝炎ウイルス検査受診者数(保健所)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・B型</li> <li>・C型</li> </ul> </li> <li>個別受診勧奨実施市町村数</li> <li>⇒肝炎対策の適正な指標に関する「奈良県肝炎対策ガイドライン」の見直しについて、令和5年度に検討予定。その結果を踏まえて指標を設ける。</li> <li>《要検討》 ②③④についての指標</li> </ul>	感染症予防のための体制整備ができています	①B型肝炎予防接種率 ②肝炎ウイルス検査受診者数(市町村) <ul style="list-style-type: none"> <li>・B型</li> <li>・C型</li> </ul> ③肝炎ウイルス検査受診者数(保健所) <ul style="list-style-type: none"> <li>・B型</li> <li>・C型</li> </ul> ⇒令和5年度に見直しを検討している「奈良県肝炎対策ガイドライン」における肝炎対策の体制に係る取組等を踏まえて指標を設ける。 《要検討》 肝炎以外の感染症予防の体制整備に関する指標	②がんに関する正しい知識を持っている	②過去1年間にがん検診を受診した人の割合 《要検討》 がん予防に関する正しい知識の指標(たばこ対策との整合性を図る)

(2) がんの早期発見 【めざす姿】 県民が、がんの早期発見やがん検診受診の必要性を認識し、質の高いがん検診を受診できている。

個別施策 (目標のために取り組むこと)			中間目標 (最終目標のために必要な体制整備)	最終目標 (あるべき姿)		
初期アウトカム	個別施策	指標	中間目標	指標	最終目標	指標
1 がん検診の受診促進	①「がん検診を受けよう!」奈良県民会議の開催 県民に対するがん検診受診啓発 ②企業と連携した(奈良県がん検診応援団)がん検診受診啓発 ③がん検診受診勧奨を推進するための人材育成 ④市町村の受診率向上に向けた取組支援 ⑤協会けんぽと連携したがん検診の推進 ⑥県民だより、健康だより、インターネット、(県ホームページ・NS等)を活用した情報発信	・「がん検診を受けよう!」奈良県民会議登録会員数 ・奈良県がん検診応援団企業数 ・がん予防推進員を養成し、 <b>ともに受診促進に取り組む活動している市町村数</b> ・受診勧奨・再勧奨に取り組む市町村数 ・セット検診を実施している市町村数 ・集団検診における休日(土日・祝日)、早朝又は夜間検診を実施している市町村割合 ・協会けんぽの被扶養者検診と市町村特定健診及びがん検診を同時実施している市町村数	①がん検診を受けやすい体制整備ができています	①がん検診受診率	①がんが早期の段階で発見されている	①がん検診における早期がんの割合
2 がん検診精度管理の充実	①がん検診従事者の資質向上のための研修会の継続 ②がん検診精度管理調査の実施・公表・指導	・がん検診従事者研修会の参加者数(延べ) ・市町村がん検診チェックリストを用いた実態調査において実施率が80%以上である市町村割合 ・ <b>指針に基づかないがん検診を改善した市町村数</b>	②精度の高いがん検診が実施できている	②-1 要精検率 ②-2 精検受診率 ②-3 陽性反応的中度(偽陽性割合) ②-4 がん発見率 ②-5 精検未把握率 ②-6 精検未受診率	②がんが早期の段階で診断されている	②がん登録における早期がんの割合
3 石綿ばく露健康影響に対する対策の推進	①石綿ばく露者の健康管理の充実	→石綿ばく露による健康不安を持つ人の割合	③石綿ばく露健康管理の施行調査の体制整備ができています	③石綿ばく露による健康不安を持つ人の割合		

## (1) がん医療の充実

【めざす姿】 がん患者が、安全かつ安心な質の高いがん医療をうけることができる

個別施策  
(目標のために取り組むこと)

中間目標  
(最終目標のために必要な体制整備)

最終目標  
(患者のあるべき姿)

初期アウトカム

個別施策

指標

中間目標

指標

最終目標

指標

がん医療体制の充実

- ①拠点病院等の体制整備の充実
- ②手術療法、放射線療法、薬物療法等の提供体制の充実
- ③チーム医療提供体制の充実
- ④がんゲノム医療提供体制の充実
- ⑤がん患者の口腔ケアの医科歯科連携の充実
- ⑥小児・AYA世代のがん医療の連携促進
- ⑦妊孕性温存療法提供体制の充実
- ⑧高齢者のがん対策の推進
- ⑨その他がん医療の実施に向けた検討

- ・がん化学療法看護認定看護師が配置されている拠点・支援病院の割合
- ・がん専門薬剤師またはがん薬物療法認定看護師が配置されている拠点・支援病院の割合
- ・がん放射線療法看護認定看護師が配置されている拠点・支援病院の割合
- ・拠点病院の病理診断医師数
- ・歯科医師連携加算、周術期口腔機能管理料(ⅡⅢ)、周術期口腔機能管理後手術加算
- ・がん薬物療法専門医師数、県内配置割合
- ・要検討(妊孕性、小児との連携、高齢者がん対策の指標)

- ①各療法について県内で安全で質の高い医療が提供できている
- ②がん患者が必要な時にサポートを受けられるチーム医療体制が整備され、医療従事者移管の連携が強化されている

- ①-1がん治療で生じた安全問題を検討している拠点病院の割合
- ①-2手術→化学療法→放射線療法→免疫療法→放射線治療クリティカルパスに対し年1回以上バリアンス分析を行っている拠点病院の割合
- ①-1 医療安全委員会の開催回数
- ①-2 自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、患者QOLについて把握・評価し、課題認識を院内の関係者で共有した上で、組織的な改善策を講じている拠点病院の割合
- ①-3 QIを利用している拠点病院数
- ①-4 日本医療機能評価機構の審査等の第三者による評価を受けている拠点病院数
- ①-5 がんゲノム遺伝子パネル検査実績
- ①-6 県内のがん患者が県内がん診療拠点病院に受診している割合
- ※要検討(妊孕性、小児との連携)
- ② 診断・治療に関わる医師、看護師、他の医療スタッフは十分に連携している

- ①安全かつ安心な質の高い医療を受けている
- ②がん患者が納得した治療を選んでいる

- ①5年相対生存率
- ②-1 医師による診療・治療内容に満足している
- ②-2 診断や治療方針について、自分の疑問や意見を十分に医師に伝えられた

がん医療の質の向上

- ⑩拠点病院等のがん医療の評価・分析
- ⑪医療の質の評価方法の検討
- ⑫医療関係者へのがん診療情報の見える化

- ・悪性腫瘍手術の実施件数
- ・放射線治療の実施件数
- ・外来化学療法の実施件数
- ・拠点病院等での医療安全管理部門等での検討会の開催回数
- ・要検討(ゲノム・妊孕性)
- ・医療の質の評価方法について検討結果の公表
- ・実地調査の結果についてがん診療連携協議会等で情報共有

- ③がん患者やその家族に必要な情報を提供できている

- ③-1 がん治療を決めるまでの間、医師、看護師、他のスタッフは治療について患者がほしい情報を提供している
- ③-2 がん治療方法についての情報が不十分である
- ③-3 病院の診療体制や治療状況についての情報が不十分である

- ②-3 がんの診断から治療開始までの状況を総合的に振り返り、自身が納得いく治療を選択することが出来た

患者目線でのがん診療情報の提供

- ⑬患者目線でのがん診療情報の見える化
- ⑭がん診療情報の提供内容及び周知の充実

- ・診療機能、診療実績等の情報提供内容、周知方法等の検討結果の公表
- ・担当医からセカンドオピニオンの説明を受けた割合
- ・医師から不妊の影響について説明を受けた割合
- ・病院等での療養ガイド配布数
- ・がんネットならの認知度、アクセス数

(2) がんと診断された時からの緩和ケア

【めざす姿】 がん患者やその家族が、痛みやつらさが軽減され、療養生活に満足している。

個別施策  
(目標のために取り組むこと)

中間目標  
(最終目標のために必要な体制整備)

最終目標  
(患者のあるべき姿)

初期アウトカム

個別施策

指標

中間目標

指標

最終目標

指標

緩和ケア提供体制の充実

緩和ケアの理解促進と情報提供の充実

①拠点病院等の緩和ケア提供体制の質の向上

②医療従事者への緩和ケア研修会の充実

③緩和ケアに関する情報の充実、普及啓発

- ・緩和ケア外来患者の年間受診患者のべ数
- ・緩和ケア外来患者の年間新規診療症例数
- ・緩和ケアチーム研修会の参加医療機関数
- 緩和ケア提供体制に関する評価・分析の公表(年1回)
- ・がん患者指導管理料イを算定している医療機関数
- ・がん患者指導管理料ロを算定している医療機関数
- ・がん患者カウンセリングを実施している病院数※

- ・拠点病院における緩和ケア研修会受講率(医師)
- ・緩和ケアフォローアップ研修(アドバンス研修)受講者数
- ・看護師等の緩和ケア研修会(ELNEC-J)の受講者数

- ・がんネットなら認知度、アクセス数
- ・緩和ケアの認知度
- ・拠点病院等における公開講座の開催

①質の担保された緩和ケア提供体制(緩和ケア外来、チーム医療)が整備されている

②がん患者の緩和ケアについての正しい理解が進んでいる

①-1 緩和ケアチームにおける年間新規診療症例数

①-2 緩和ケア外来患者の年間新規診療症例数

①-3 がん患者指導管理料イ・ロの算定件数

② 緩和ケアはがんと診断された時から受けるものだ知っている ※追加指標ないか検討(緩和ケアとはどのようなものか等)

①身体的、精神的、社会的苦痛が緩和されている

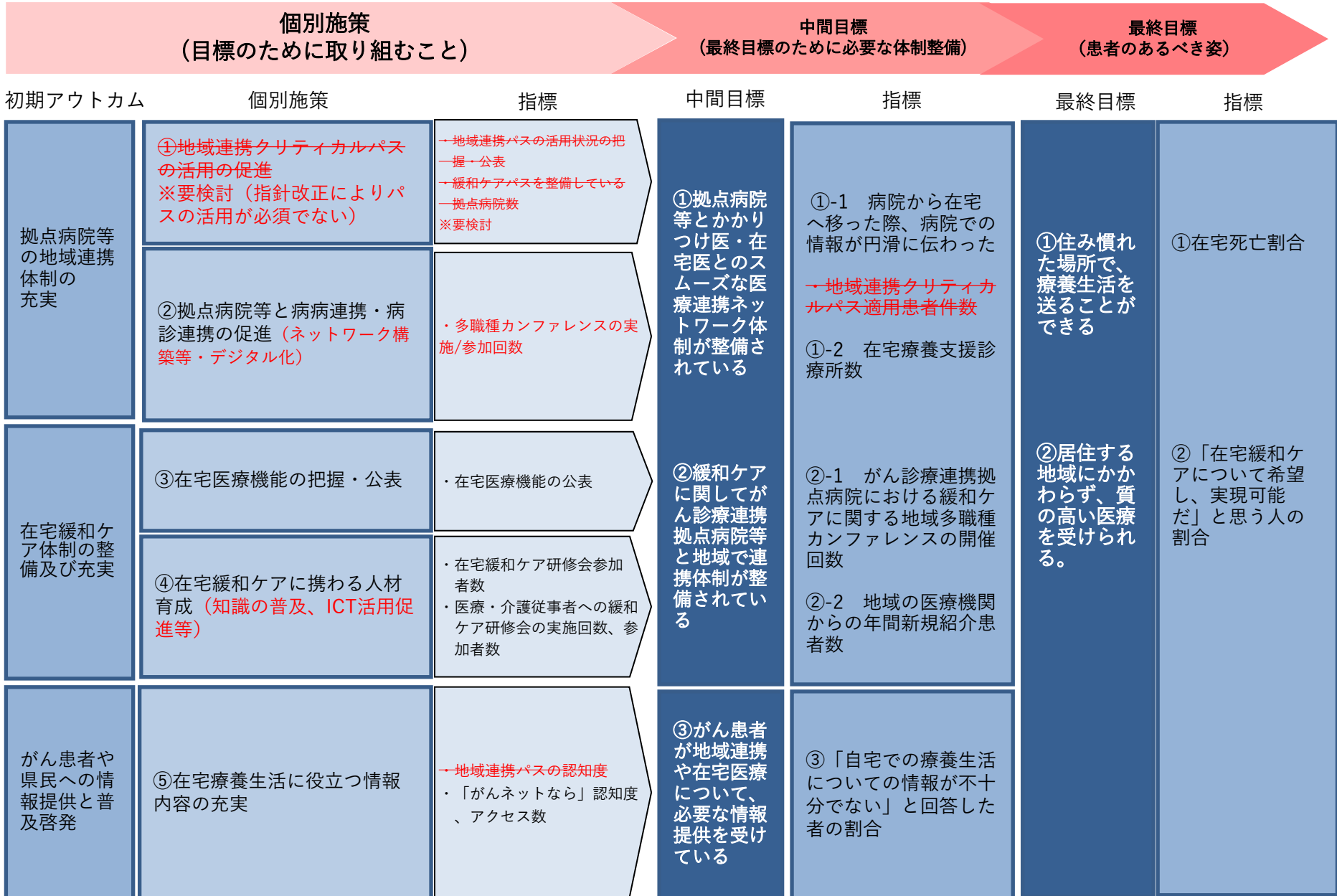
※要検討(社会的苦痛の緩和に関する指標) がん患者等の社会的問題への対応とリンクさせる

①-1 からだの苦痛に対する希望に応じた緩和ケアの早い提供・症状改善の状況

①-2 気持ちのつらさに対する希望に応じた緩和ケアの早い提供・症状改善の状況

※要検討(社会的苦痛の緩和に関する指標) がん患者等の社会的問題への対応とリンクさせる

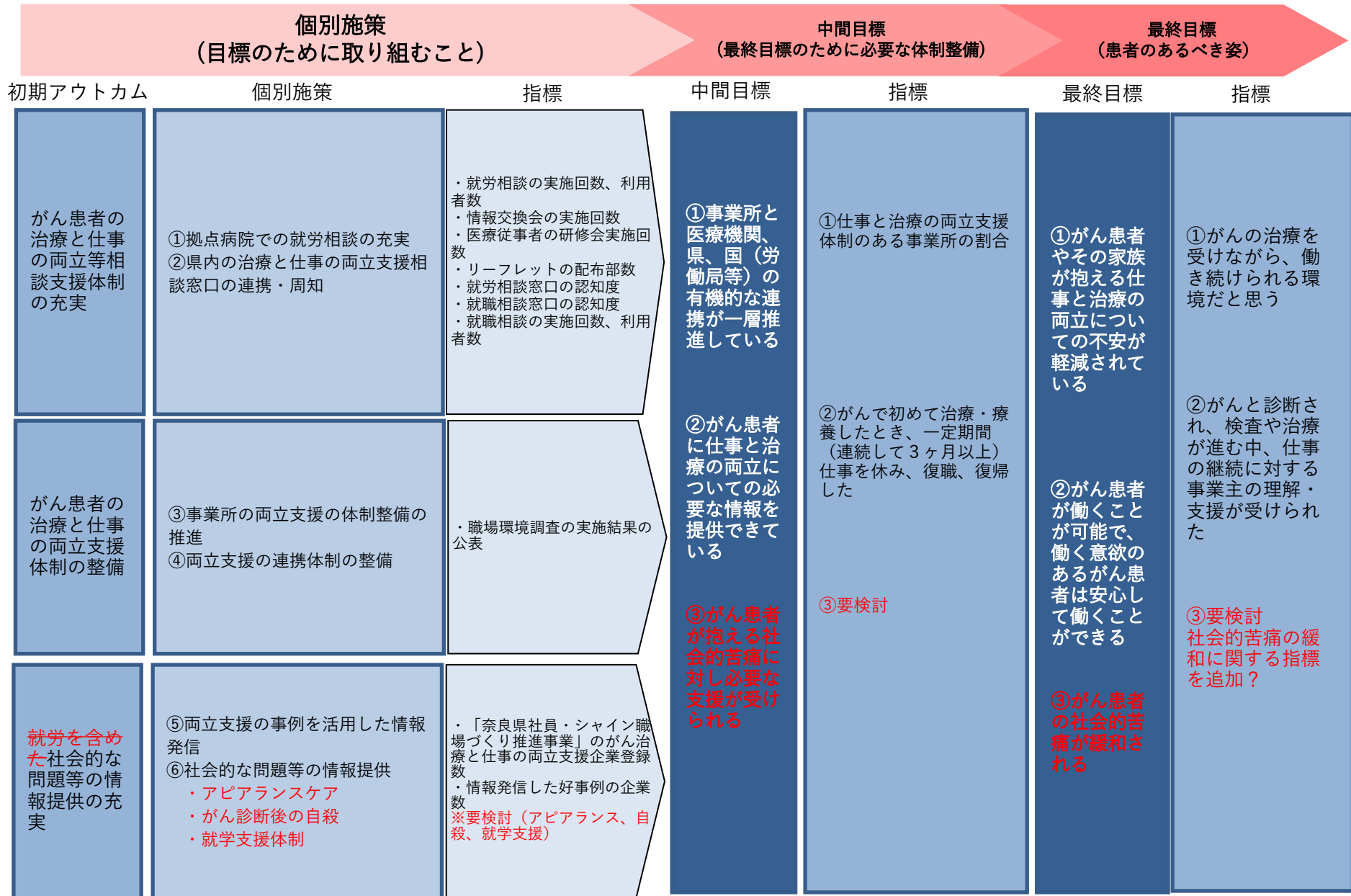
(3) 地域連携 【めざす姿】 がん患者が、自分の望む場所で納得のいく療養生活を送ることができる



(1) 相談支援及び情報提供 **【めざす姿】** すべてのがん患者やその家族が、不安、悩み、疑問に対して、いつでも身近なところで、必要な情報を受け取ることができ、その悩みや疑問が軽減している



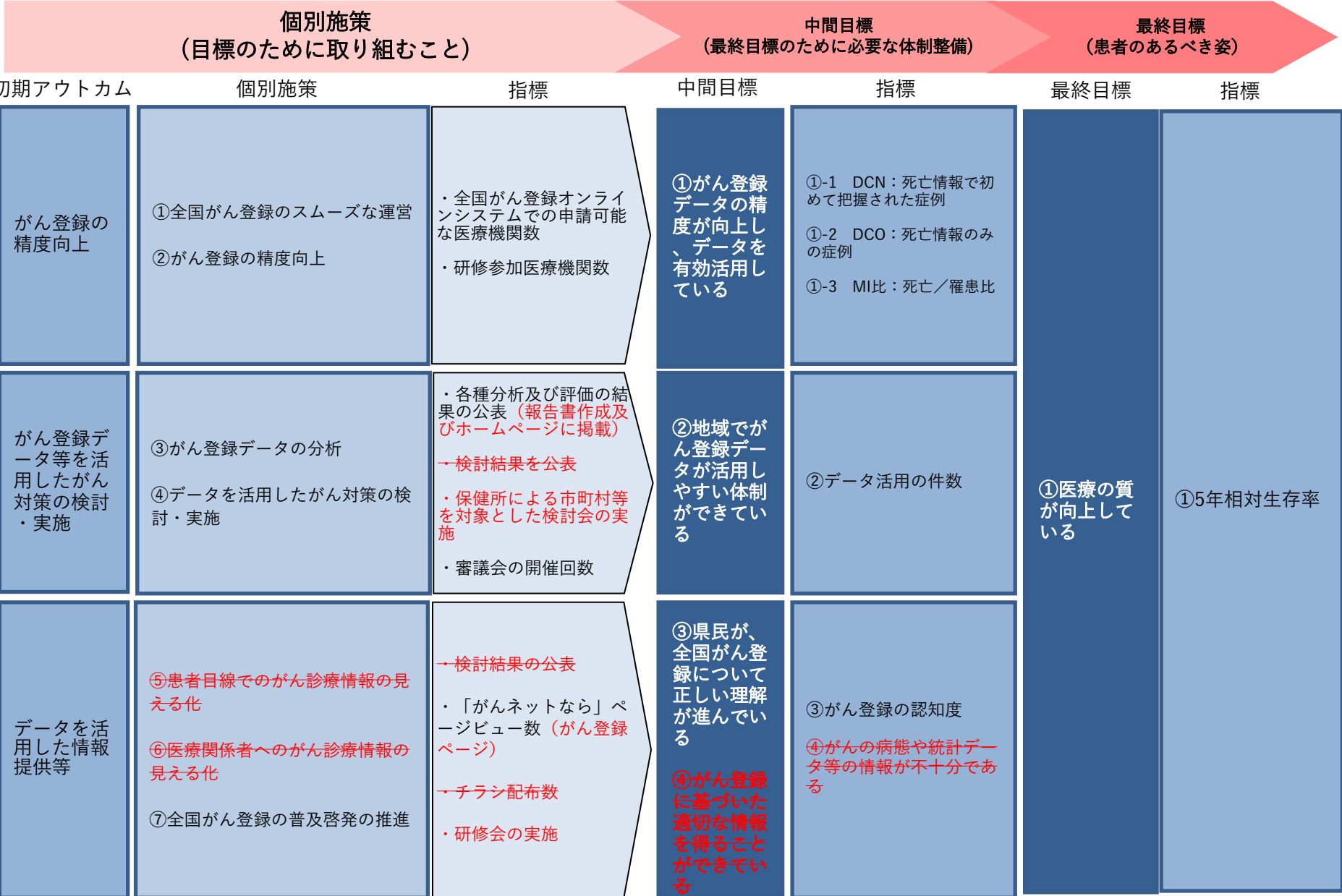
(2) がん患者の**就労を含めた社会的な問題への対応** 【めざす姿】 がん患者やその家族が抱える仕事と治療の両立についての不安が軽減され、働くことが可能で、働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができる ←要検討





(1) がん登録

【めざす姿】 がん患者ががん登録データを活用した質の高いがん医療を受けることができる。



# 第4期 奈良県がん対策推進計画 分野別施策（案） 5. がん教育・知識の普及啓発

【めざす姿】 児童・生徒が子どもの頃からがんに関する正しい知識を持ち、がんの予防や早期発見の重要性について理解している。~~に注意を払っている。~~また、自分や身近な人ががんになっても、それを正しく理解し、向き合っている。

## 個別施策 (目標のために取り組むこと)

## 中間目標 (最終目標のために必要な体制整備)

## 最終目標 (患者のあるべき姿)

初期アウトカム

個別施策

指標

中間目標

指標

最終目標

指標

<p>中学校・高等学校におけるがん教育の充実、推進</p>	<p>①ICTを活用したがん教育用教材等の内容更新作成 ②外部講師を活用したがん教育の推進</p>	<p>・中学校・高等学校におけるがん教育教材や外部講師を活用したがん教育の実施率</p>	<p>①中学校、高等学校において、がん教育教材や外部講師を活用してがん教育が実施できている</p>	<p>①中学校・高等学校におけるがん教育教材や外部講師を活用したがん教育の実施率</p>	<p>①中学生、高校生におけるがんに関する知識の向上</p>	<p>①-1がんは誰もがかかる可能性のある病気である ①-2たばこを吸わないこと、バランスよく食事をする、適度な運動をすることなどによって、予防できるがんもある。</p>
<p>小学校（高学年）におけるがんに関する啓発活動の推進</p>	<p>③イベントを活用した小学生へのがん教育の普及啓発</p>	<p>・小学校におけるがんに関する啓発の実施率</p>	<p>②小学校において、「奈良県がん向き合う日」を活用し、がんに関する啓発ができていく</p>	<p>②啓発用リーフレットを活用したがんに関する啓発の実施率</p>	<p>①-13早期発見すればがんは治りやすい</p>	<p>①-24がん検診を受けられる年齢になったら検診を受けようと思う</p>
<p>がん教育の普及啓発の推進</p>	<p>④教員への研修事業の充実 ⑤がん教育の普及啓発</p>	<p>・教員を対象としたがん教育に関する研修会の実施回数</p>	<p>③「がんネットなら」のページビュー数</p>	<p>③「がんネットなら」のページビュー数</p>	<p>①-35がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい</p>	<p>④-4がんと健康について、まずは身近な家庭から語りうと思う</p>
<p>がん対策全般に関する普及啓発の推進</p>	<p>⑥⑤がん対策にかかる普及啓発</p>	<p>・「がんネットなら」のページビュー数</p>	<p>④-5将来、たばこは吸わないでいようと思う</p>	<p>④-5将来、たばこは吸わないでいようと思う</p>	<p>④-5将来、たばこは吸わないでいようと思う</p>	<p>④-5将来、たばこは吸わないでいようと思う</p>